

令和6年度 荒尾市上・下水道事業会計 決算の状況

荒尾市企業局



企業会計の「おさらい」

3条収支（収益的収支）

収益

費用

給水収益 ・水道料金	維持管理費 企業債利息
営業外収益 ・受取利息など	減価償却費
	純利益

<3条収支（収益的収支）>

施設設備の**維持管理**に係る収益と費用

【収益】水道料金とその他の収益

【費用】水をつくり、送り、施設設備を管理する経費
⇒減価償却費のように現金支出を伴わない支出も含まれる

<4条収支（資本的収支）>

施設設備への**新規及び更新投資**に係る収入と支出

【収入】企業債収入、補助金など

【支出】施設設備を新設・改良するための費用

4条収支（資本的収支）

収入

支出

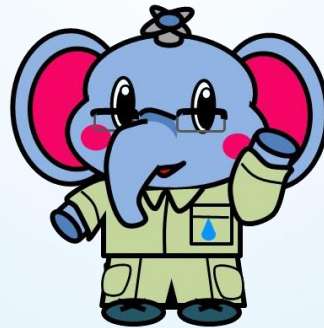
企業債収入 補助金など	建設改良費 企業債元金
内部留保資金	

現年度
損益勘定留保資金

内部留保資金

現年度
損益勘定留保資金

過年度
損益勘定留保資金



<内部留保資金>

家庭での貯金に該当するもの

⇒3条の純利益と減価償却費のように現金支出のない費用によって生じた資金

荒尾市水道業務の状況

令和7年3月31日現在

項目	単位	令和6年度	令和5年度	増減	伸率(%)
行政区域内人口	人	48,806	49,394	△ 588	△ 1.2
年度末給水人口	人	46,838	47,370	△ 532	△ 1.1
普及率	%	96.0	95.9	0.1	
年間総配水量	m ³ /年	5,371,451	5,368,980	2,471	0.0
年間有収水量	m ³ /年	4,732,479	4,799,613	△ 67,134	△ 1.4

年間総配水量：配水池や浄水場から送り出した1年間の水量

年間有収水量：水道料金収入につながった1年間の水量

- ※ 給水人口は、1年間で532名減少しました。今後も給水人口は減少傾向になると予測します。有収水量も給水人口と同様に減少しました。



経営の状況 3条収支（収益的収入・支出）

(収益的収入)	(単位：千円)					
	令和6年度		令和5年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業収益	837,925	75.2	766,351	73.8	71,574	9.3
2. 営業外収益	275,858	24.8	271,837	26.2	4,021	1.5
3. 特別利益	5	0.0	8	0.0	△ 3	△ 37.5
計	1,113,788	100.0	1,038,196	100.0	75,592	7.3

(収益的支出)	(単位：千円)					
	令和6年度		令和5年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業費用	1,027,895	94.4	961,124	94.2	66,771	6.9
①職員給与費	59,871	5.5	61,195	6.0	△ 1,324	△ 2.2
②経費	458,752	42.1	445,129	43.6	13,623	3.1
委託料（包括：修繕費）	69,981	6.4	54,628	5.4	15,353	28.1
委託料（包括：動力費）	55,815	5.1	48,345	4.7	7,470	15.5
委託料（包括：その他）	176,156	16.2	178,846	17.5	△ 2,690	△ 1.5
包括委託以外の経費	156,800	14.4	163,310	16.0	△ 6,510	△ 20.9
③減価償却費	471,536	43.3	442,083	43.3	29,453	6.7
④資産減耗費	37,736	3.5	12,717	1.3	25,019	196.7
2. 営業外費用・特別損失	60,945	5.6	59,574	5.8	1,371	2.3
計	1,088,840	100.0	1,020,698	100.0	68,142	6.7

収益的収支は、1,113,788千円－1,088,840千円＝24,948千円の黒字となりました。



(損益収支)	(単位：千円)		
	令和6年度	令和5年度	増減
当年度純利益	24,948	17,498	7,450
前年度繰越利益剰余金	100,378	92,879	7,499
その他未処分利益剰余金変動額	272,453	214,785	57,668
当年度未処分利益剰余金	397,779	325,162	72,617
利益剰余金	528,234	718,070	△ 189,836

当年度純利益 2,494万8千円（令和5年度より745万円の増加）

利益剰余金（※1） 5億2,823万4千円（令和5年度より1億8,983万6千円の減少）

※1 利益剰余金とは、家庭での貯金に該当するものであり、これまでの利益の累積額です。利益剰余金が不足すると年度途中に発生する工事費の支払い等が出来なくなり、安定した事業の運営に支障をきたす恐れがあります。

経営の状況 4条収支（資本的収入・支出）



(資本的収入)	(単位：千円)					
	令和6年度		令和5年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 企業債	757,000	79.2	586,600	74.7	170,400	29.0
2. 工事負担金	237	0.0	8,809	1.1	△ 8,572	△ 97.3
3. 他会計負担金	9,444	1.0	9,306	1.2	138	1.5
4. 補助金	189,247	19.8	180,182	23.0	9,065	5.0
計	955,928	100.0	784,897	100.0	171,031	21.8

(資本的支出)	(単位：千円)					
	令和6年度		令和5年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 建設改良費	1,338,055	81.5	1,056,183	79.2	281,872	26.7
①配水設備拡張費	58,262	3.6	57,923	4.4	339	0.6
うち包括委託工事費	29,090	1.8	32,077	2.4	△ 2,987	△ 9.3
②配水設備改良費	1,258,312	76.6	988,703	74.1	269,609	27.3
うち包括委託工事費	1,150,205	70.1	850,457	63.7	299,748	35.2
③営業設備費	21,481	1.3	9,557	0.7	11,924	124.8
うち包括委託工事費	8,451	0.5	9,557	0.7	△ 1,106	△ 11.6
2. 企業債償還金	303,237	18.5	277,829	20.8	25,408	9.1
計	1,641,292	100.0	1,334,012	100.0	307,280	23.0

資本的収支

資本的収入（955,928千円）－資本的支出（1,641,292千円）
＝685,364千円の資金不足となりました。

なお、収支不足分につきましては、当年度損益勘定留保資金（※2）等にて補填しました。

※2 当年度損益勘定留保資金とは、現金支出を伴わない減価償却費（固定資産を耐用年数に応じて費用分配した額）等の企業の内部に留保される資金の事。

（資本的収支）

（単位：千円）

		令和6年度	令和5年度	増減
資本的収支不足額		685,364	549,115	136,249
補填財源	過年度分	0	0	0
	当年度分	685,364	549,115	136,249



令和6年度決算(水道事業)

貸借対照表

資産 100 % 13,429,668 千円	負債 69.2 % 9,295,996 千円
	資本 30.8% 4,133,672 千円
うち現金預金 9.5% 1,281,663 千円	

損益計算書

営業費用 94.4 % 1,027,895 千円 うち減価償却費 471,536 千円	営業収益 75.2 % 837,925 千円 うち水道料金 835,468 千円
営業外費用 5.6% 60,944 千円	営業外収益 24.8% 275,858 千円
特別損失 1千円	特別利益 5千円
純利益 2.2% 24,948 千円	

《水道事業の総括》

令和6年度の収益的収支においては、令和5年10月に実施した水道料金改定により、前年度から給水収益が約7,100万円、総収入が約7,550万円増加し、約2,495万円の黒字決算となりました。

しかし、人口減少や節水機器の普及等により、給水収益の基となる有収水量が年々減少していることや物価高騰による固定費及び老朽化施設の更新費用等が増加していることにより、財政運営は厳しい状況が予測されます。

今後も水道ビジョンに掲げる「あらおの水 蛇口から出る安心を これからも」を念頭に、老朽化対策等の各種施策を着実に実施し、永続的に利用できる水道の維持と共に健全な運営に努めます。

荒尾市下水道業務の状況

令和7年3月31日現在

項目	単位	令和6年度	令和5年度	増減	伸率(%)
行政区域内人口	人	48,806	49,394	△ 588	△ 1.2
処理区域内人口	人	34,135	34,723	△ 588	△ 1.7
水洗化人口	人	31,091	31,606	△ 515	△ 1.6
普及率	%	69.9	70.3	△ 0.4	
水洗化率	%	91.1	91	0.1	
年間総処理水量	m ³	4,347,478	4,442,449	△ 94,971	△ 2.1
年間有収水量	m ³	3,653,995	3,706,083	△ 52,088	△ 1.4

※ 処理区域内人口は、昨年度より588人の減少となりました。また、下水道使用料に直結する有収水量についても1.4%の減少となりました。



経営の状況 3条収支（収益的収入・支出）

（収益的収入）

（単位：千円）

	令和6年度		令和5年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業収益	766,308	61.0	774,844	60.7	△ 8,536	△ 1.1
2. 営業外収益	492,046	39.0	502,132	39.3	△ 10,086	△ 2.0
3. 特別利益	4	0.0	0	0.0	4	皆増
計	1,258,358	100.0	1,276,976	100.0	△ 18,618	△ 1.5

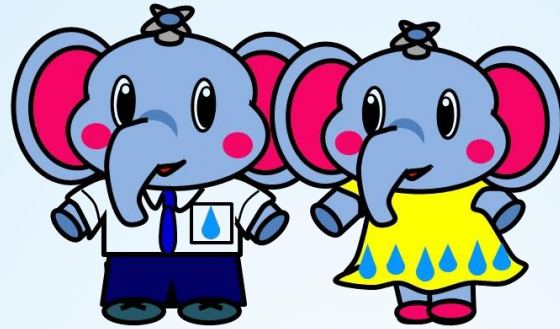
（収益的支出）

（単位：千円）

	令和6年度		令和5年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 営業費用	1,142,355	93.4	1,129,486	92.9	12,869	1.1
①職員給与費	71,275	5.8	67,132	5.5	4,143	6.2
②経費	425,991	34.9	423,766	34.9	2,225	0.5
③減価償却費	636,781	52.0	626,486	51.5	10,295	1.6
④資産減耗費	8,308	0.7	12,102	1.0	△ 3,794	△ 31.4
2. 営業外費用	81,232	6.6	86,354	7.1	△ 5,122	△ 5.9
①支払利息	75,868	6.2	78,922	6.5	△ 3,054	△ 3.9
②雑支出	5,364	0.4	7,432	0.6	△ 2,068	△ 27.8
3. 特別損失	8	0.0	0	0.0	8	皆増
計	1,223,595	100.0	1,215,840	100.0	7,755	0.6

収益的収支は、1,258,358千円－1,223,595千円＝34,763千円の純利益となりました。





(損益収支)	(単位：千円)		
	令和6年度	令和5年度	増減
当年度純利益	34,763	61,136	△ 26,373
前年度繰越利益剰余金	70,337	70,337	0
その他未処分利益剰余金変動額	89,089	74,022	15,067
当年度未処分利益剰余金	194,189	205,495	△ 11,306
利益剰余金	194,189	233,448	△ 39,259

当期純利益 3,476万3千円 (令和5年度より2,637万3千円の減少)

利益剰余金 1億9,418万9千円 (令和5年度より3,925万9千円の減少)

経営の状況 4条収支（資本的収入・支出）

(資本的収入)	(単位：千円)					
	令和6年度		令和5年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 企業債	136,500	39.7	361,100	45.7	△ 224,600	△ 62.2
2. 補助金	198,841	57.9	384,349	48.6	△ 185,508	△ 48.3
3. 工事負担金	3,600	1.0	0	0.0	3,600	皆増
4. 固定資産売却代金	0	0.0	35,797	4.5	△ 35,797	皆減
5. 受益者負担金	4,763	1.4	9,227	1.2	△ 4,464	△ 48.4
計	343,704	100.0	790,473	100.0	△ 446,769	△ 56.5

(資本的支出)	(単位：千円)					
	令和6年度		令和5年度		対前年度比	
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)	増減	伸率(%)
1. 建設改良費	335,612	40.3	678,238	56.4	△ 342,626	△ 50.5
2. 借入償還金	496,566	59.7	505,558	42.0	△ 8,992	△ 1.8
3. 国庫補助金返還金	0	0.0	19,774	1.6	△ 19,774	皆減
計	832,178	100.0	1,203,570	100.0	△ 371,392	△ 30.9



資本的収支

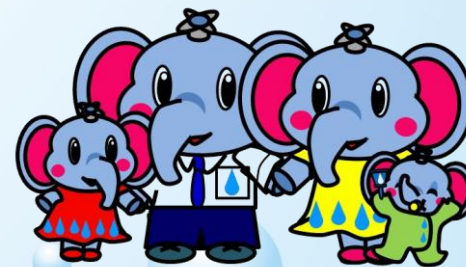
資本的収入（343,704千円）－資本的支出（832,178千円）
＝488,474千円の資金不足となりました。

なお、収支不足分につきましては、当年度損益勘定留保資金や減債積立金等で補填し、なお不足する分は一時借入金で措置しました。

（資本的収支）

（単位：千円）

		令和6年度	令和5年度	増減
資本的収支不足額		488,474	413,097	75,377
補填財源	過年度分	0	0	0
	当年度分	488,474	413,097	75,377



令和6年度決算(下水道事業)

貸借対照表

資産 100 % 14,312,737 千円	負債 84.7 % 12,127,700 千円
	資本 15.3% 2,185,037 千円
うち現金預金 2.4% 342,647 千円	

損益計算書

営業費用 93.4 % 1,142,355 千円 うち減価償却費 636,781 千円	営業収益 61.0 % 766,308 千円 うち使用料 689,323 千円
	営業外収益 39.0% 492,046 千円 うち長期前受金戻入 299,688 千円
営業外費用 6.6% 81,232 千円 純利益 2.8% 34,763 千円	特別利益 0.0% 4 千円

《下水道事業の総括》

令和6年度は収益的収支において約3,476万円の純利益となりましたが、利益額は年々減少傾向にあります。

今後については水道事業と同じく、人口減少や節水機器の普及に伴う有収水量の減少や終末処理施設などの経年劣化に伴う更新費用の増加、また維持管理費など固定費の増加といった課題もあり、財政運営の厳しさは増していくことが予測されます。

将来に亘り、市民生活の利便性や安全性を確保したサービス創出を続けていくために、コストを抑えた計画的な施設更新や効率的な維持管理を行うとともに長中期収支計画のフォローアップを行い、適正な下水道使用料について検討を進め、経営基盤の強化に努めます。